

議事(1)

路線整備の意義・必要性等の整理

1

1. 路線整備の意義・必要性(H17.2)

「平成17年時点に整理された本路線の意義」

【現状】

- ・「混雑緩和」という目的は一定程度達成。
- ・「国際アメニティタウン」構想のエリアのうち、具体的な計画が進んでいるのは浦和美園周辺のみ、延伸地域は、この構想を具体化する計画がない。

【新たな方向性】

- ・埼玉の自立性に大きく寄与する浦和東部から岩槻方面の地域には、人口の交流、定住を促す新しい発想による地域づくりが必要。
- ・延伸線は、そのまちづくりを支える装置の1つ。

2

1. 路線整備の意義・必要性(H17.2)

「平成17年時点に整理された本路線の意義」

1) 地域の活性化

- ① 都心からのアクセス強化
- ② 埼玉スタジアム2002の利便性向上及び周辺の整備推進
- ③ 公共交通志向型都市の構築

2) 首都圏鉄道ネットワークの強化

- ① 埼玉県における新たな交通軸の形成
- ② 首都圏全体の鉄道網の構築
- ③ 長距離混雑率の改善

3) 環境負荷の軽減

- ① 自動車交通から公共交通への転換
- ② 道路交通の渋滞緩和

3

1. 路線整備の意義・必要性(H17.2)

1) 地域の活性化

① 都心からのアクセス強化

- ・都心から当該地域への直通路線の整備による、都心からの利便性・速達性の向上

② 埼玉スタジアム2002の利便性向上及び周辺の整備推進

- ・県全体からスタジアムへの交通利便性の向上による、埼玉スタジアム2002の価値の向上

③ 公共交通志向型都市の構築

- ・地球環境問題や高齢化の進展を踏まえた、鉄道整備による公共交通志向型都市の構築

4

1. 路線整備の意義・必要性(H17.2)

2) 首都圏鉄道ネットワークの強化

① 埼玉県における新たな交通軸の形成

- ・ 延伸線の整備により、埼玉高速鉄道を有効活用した2つの環状的路線が誕生

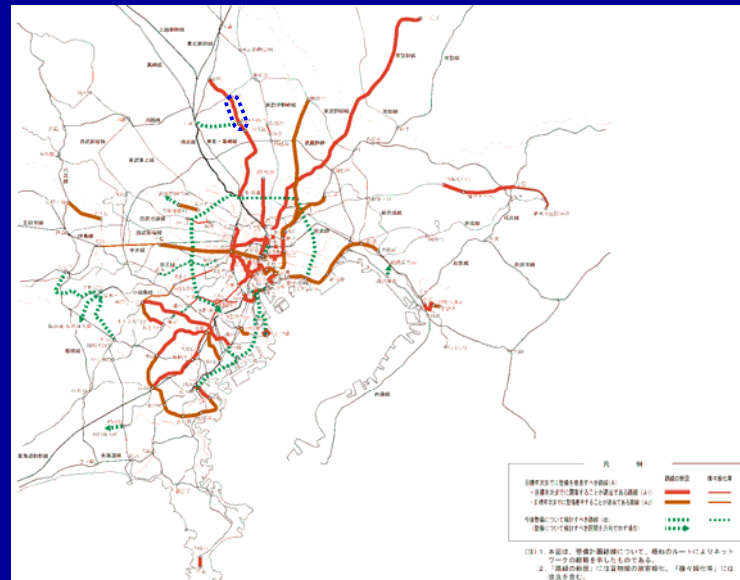
② 首都圏全体の鉄道網の構築

- ・ 運政審18号答申整備推進路線のうち、未着工大規模路線の整備による首都圏全体の鉄道ネットワークの強化

③ 長距離混雑率の改善

- ・ 埼玉高速鉄道の活用による、JR東北・高崎線、埼京線等の「混雑の長さ」の改善

運輸政策審議会答申第18号 答申図

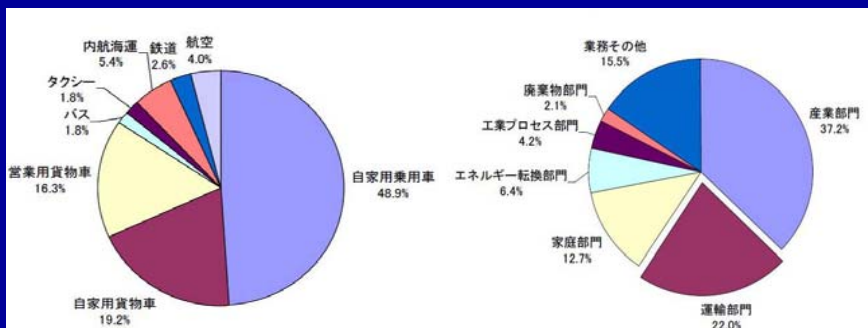


1. 路線整備の意義・必要性(H17.2)

3) 環境負荷の軽減

① 自動車交通から公共交通への転換

- ・ 自動車交通から公共交通への転換を促進し、温室効果ガスや大気汚染ガス等の削減による環境負荷を軽減



部門別のCO2排出割合 (%)

運輸部門の輸送機関別のCO2排出割合 (%)

1. 路線整備の意義・必要性(H17.2)

3) 環境負荷の軽減

② 道路交通の渋滞緩和

- ・ 慢性的に渋滞している沿線地域の道路の渋滞緩和
- ・ 埼玉スタジアム試合開催日の周辺道路の混雑緩和

表 延伸線付近の主な幹線道路の混雑度

路線名	混雑度
国道122号 (岩槻市内)	1.19~3.14
国道16号 (岩槻市内)	1.40~1.85
県道蒲生・岩槻線 (岩槻市内)	1.13~1.87
県道越谷・岩槻線 (岩槻市内)	0.89~2.48
国道122号 (浦和 C付近)	1.00~2.00

2. H17委員会において整理された「延伸線の意義の最新データ等」

(1) 首都圏鉄道整備の状況

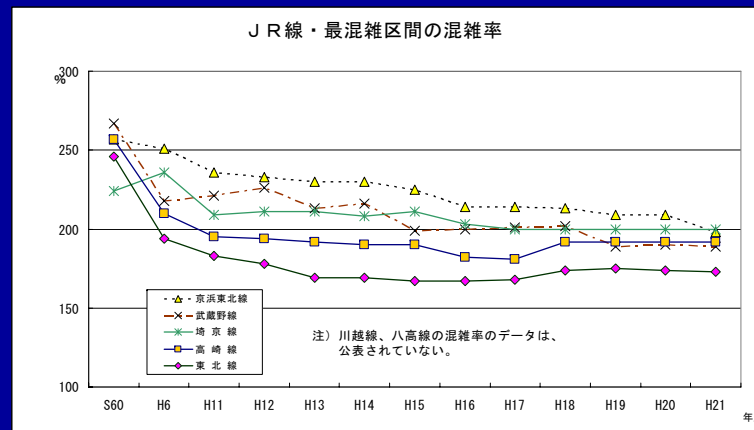


9

(2) 長距離混雑率等の状況

① JR線

- ・運輸政策審議会13号答申の長期目標値(150%)
- ・当面の東京圏の全区間の目標値:混雑率180%

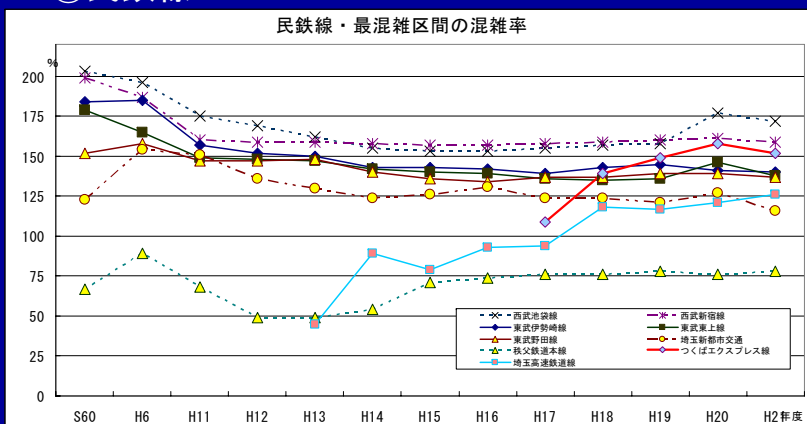


東北線:土呂⇒大宮、高崎線:宮原⇒大宮、京浜東北線:上野⇒御徒町
武蔵野線:東浦和⇒南浦和、埼京線:板橋⇒池袋(H5～15は池袋⇒新宿)

10

(2) 長距離混雑率等の状況

② 民鉄線



東武伊勢崎線:小菅⇒北千住、東武東上線:北池袋⇒池袋、東武野田線:北大宮⇒大宮
西武池袋線:椎名町⇒池袋、西武新宿線:下落合⇒高田馬場、
秩父鉄道本線:(～H14)大麻生⇒石原、(H15～)明戸⇒大麻生、埼玉新都市交通伊奈線:大成⇒大宮
埼玉高速鉄道:川口元郷⇒赤羽岩淵、つくばエクスプレス:青井⇒北千住

11

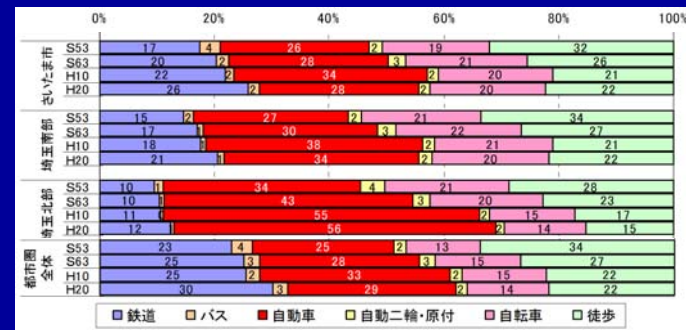
(3) 公共交通の利用動向

① 最新パーソントリップ調査からみるSR沿線の公共交通利用状況

平成20年パーソントリップ調査結果

代表交通手段分担率は、都市圏全体では自動車利用率が減少し、鉄道利用率が増加

埼玉県南部においても同様の傾向



地域別代表交通手段分担率(発生集中量ベース)

12

②岩槻区(岩槻市)における代表交通手段

平成10年度と平成20年度のパーソントリップ調査結果によると、岩槻区(市)の分担率は、**鉄道・地下鉄が3.1ポイント増、自動車**が**3.8ポイントの減**となった。都市圏全体、さいたま市全体の傾向と一致しているが、自動車の分担率は比較的高い。

発生集中量

交通手段	鉄道・地下鉄	路線バス・都電	自動車	2輪車	自転車	徒歩	計
岩槻市 (H10)	56,168	1,746	226,859	11,781	76,750	74,058	447,362
岩槻区 (H20)	69,602	2,174	208,206	7,457	79,570	77,381	444,390

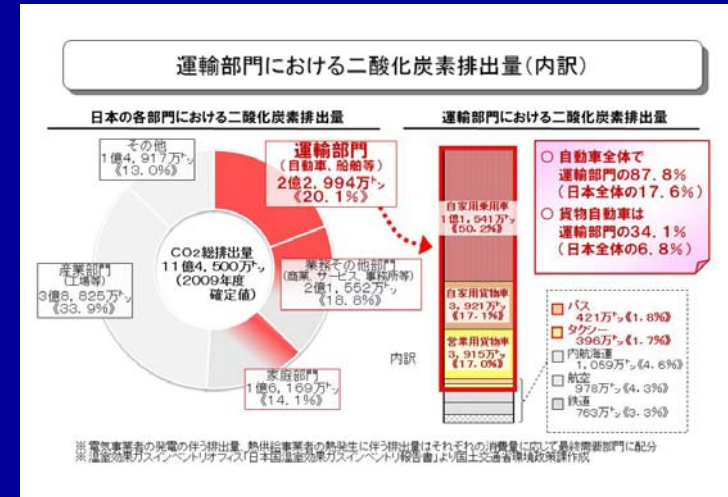
分担率

交通手段	鉄道・地下鉄	路線バス・都電	自動車	2輪車	自転車	徒歩	計
岩槻市 (H10)	12.6	0.4	50.7	2.6	17.2	16.6	100
岩槻区 (H20)	15.7	0.5	46.9	1.7	17.9	17.4	100

※ 岩槻市 (H10) : その他 (0) を除く。
 岩槻区 (H20) : その他 (104)、不明 (10,368) を除く。() は発生集中量。
 分担率は四捨五入によるため、合計値が合わない場合がある。

13

③ 運輸部門における二酸化炭素排出量等



運輸部門 : (H17調査時) 22.0% ⇒ (H21) 20.1% (-1.9ポイント)
 自家用自動車 : (H17調査時) 48.9% ⇒ (H21) 50.2% (+1.3ポイント)

14

(4) 延伸線付近の主要幹線道路の混雑度

表 延伸線付近の主な幹線道路の混雑度
 (H17調査時とH17道路交通センサスとの比較)

路線名	混雑度 (H17調査時)	平日混雑度
国道122号 (岩槻区内)	1.19~3.14	0.92~1.38
国道16号 (岩槻区内)	1.40~1.85	1.49
県道蒲生・岩槻線 (岩槻区内)	1.13~1.87	1.03
県道越谷・岩槻線 (岩槻区内)	0.89~2.48	0.83
国道122号 (浦和IC付近)	1.00~2.00	1.65

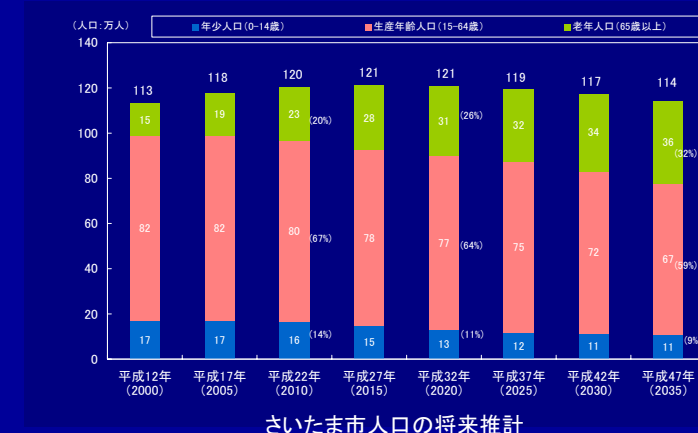
注: H17調査データ元不詳のため、暫定的な比較にとどまる

15

3. 延伸線の新たな意義に関するデータ等

(1) 高齢社会への対応

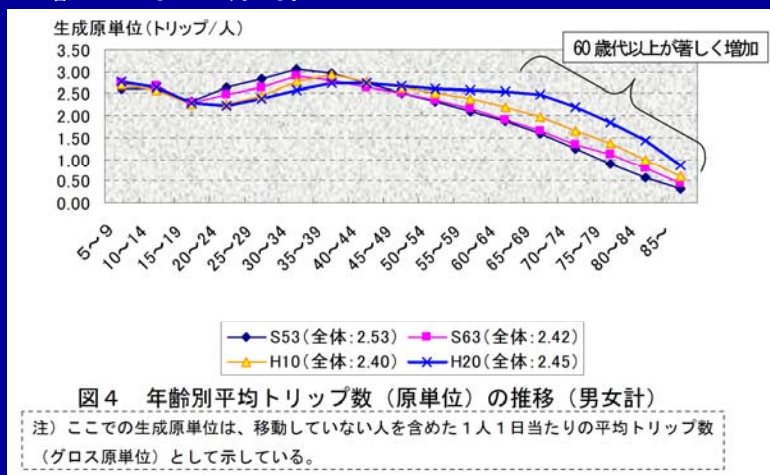
- さいたま市は未だ人口増加が続いている
- 2015年頃に人口のピークを迎え、その後は人口減少とともに急速な高齢化が進む見込み



16

②1人1日当たりの平均トリップ数及び目的構成の推移

- ・20代～40代にかけては緩い減少傾向にある。
- ・高齢者のトリップ数は著しい増加傾向にあり、高齢者の社会参加機会が増加していることが伺える。



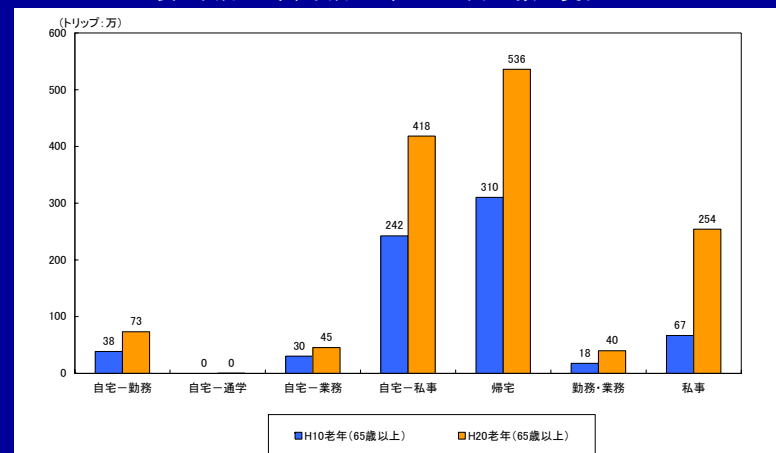
資料:東京都市圏パーソントリップ調査(交通実態調査)の結果概要、H22.2.3差し替え版

17

②1人1日当たりの平均トリップ数及び目的構成の推移

- ・老年人口総トリップ数は、約2倍(約700万→1400万トリップ)
- ・私事のトリップ数は3.8倍に増加(約70万→250万トリップ)

・表 平成10年、平成20年PT トリップ数の変化



18

(2)代替性(リダンダンシー)

①震災時における埼玉高速鉄道

平成23年3月11日、東日本大震災が発生
 地震発生直後から首都圏の鉄道路線が全線運行停止
 主要駅等で足止めされた多くの帰宅困難者が発生



一部の私鉄や地下鉄が同日中に運転を再開
 埼玉高速鉄道は南北線白金高輪～浦和美園間で運転再開



沿線住民の交通手段のみならず、運休路線の代替機能(リダンダンシー)として大きな役割を果たした

19

(3)浦和美園～岩槻 交通とまちづくりの現状・課題

①地域交通ネットワーク



20

②岩槻区の状況

- ・岩槻観光客数………H20年 1,178千人 H21年 1,119千人
- ・東武岩槻駅乗降客数…H20年 37,109人 H21年 36,348人
- ・従業員………H8からH19年の間に約1割減
人形製造 従業者数249人減、1,400億円減

高齢化率推計

	さいたま市全体	岩槻区
2005年	15.9%	18.0%
2015年	23.4%	29.0%
2025年	27.0%	31.5%
2035年	32.0%	33.0%

人口及び人口密度

	平成12年 (人)	平成17年 (人)	平成22年 (人)	人口密度 (人/km ²)	面積 (km ²)
さいたま市	1,133,300	1,176,314	1,222,910	5,622.8	217.49
岩槻区	109,247	108,976	111,325	2,264.5	49.16

出展：「平成22年国勢調査さいたま市速報集計結果」(H22.2.17)。人口密度は平成22年値

③目白大学及び目白大学クリニックの状況

1. 所在地 目白大学岩槻キャンパス
2. 学生数 **1229名** (保健医療学部、看護学部)
3. 教職員数 **110名**
4. 目白大学クリニック
 - ・平成20年開設
 - ・耳鼻咽喉科、リハビリテーション科(言語療法)
 - ・院長: 坂田英明 目白大学保健医療学部教授
 - ・職員数: 13名
 - ・全国各地から**毎日100名**近い患者様が来院・診療を受ける
5. 今後の事業展開予定
 - ・目白大学クリニックの機能拡充
 - ・看護学科の入学定員を、**80名から100名**に増加を計画